

事業名：えべつスノーフェスティバル開催事業

総務課 総務係

政策	99 政策の総合推進								
施策	05 施策の総合推進その5								
基本事業	01 施策の総合推進その5								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スノーフェスティバル実行委員会

手段（事務事業の内容、やり方）

自治会連絡協議会、商工会議所、青年会議所などで構成している冬季イベント実行委員会に対して、「えべつ冬季イベント補助金交付要領」に基づき、スノーフェスティバル開催経費の一部を補助する。メイン会場では雪像の制作、イベント、バザーの開催を行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・イベントを通して、冬を楽しみ、雪に親しみながら、親子のふれあいや市民相互の交流を深める。
- ・青少年の健全育成を推進する。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	実行委員会構成団体数	団体	18	15	15	15
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,180	2,180	2,180	2,180
活動指標2						
成果指標1	メイン会場来場者数	人	18,000	18,000	18,000	20,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	2,180	2,180	2,300	2,440
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	3,785	3,783	3,863	4,005

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	自治会連絡協議会、商工会議所、青年会議所などで構成している冬季イベント実行委員会に対して、スノーフェスティバル開催経費の一部を補助する。メイン会場では雪像の制作、イベント、バザーの開催を行う。	冬季イベント実行委員会に対する補助金2,180千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
平成13年度より同時期に開催してきたマシュマロンピックは、平成20年度より事業名から外れ、スノーフェスティバル開催事業となった。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	観光の振興、世代間の交流、コミュニティの醸成など、地域の活性化に貢献している。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	冬期間では、市内最大のイベントであり、四季を通じて江別市の代表的なイベントのひとつとなっている。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	市民参加型の冬季イベントとして定着している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	すでに広く市内全域の市民、団体等が参加して開催している。市民によるボランティアを中心に開催しており、事業内容には一定の限界がある。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
	さらに企業、商店街、農業団体などより広く参加と協力を求めて、企業広告など商業ベースを導入するなど自主財源の確保を図る考え方もあり得るが、現在の経済状況では協賛金収入などの増加は見込めない。